

『人工弁の臨床成績に関する研究』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	心臓弁膜症の治療には人工弁が用いられています。人工弁には生体弁と機械弁があり、日本国内で認可されているものは生体弁が3種類、機械弁が2種類です。 人工弁は良好な成績が学会などで発表されていますが、単施設での研究が多く症例数も欧米に比べて少ない状況です。 本研究では人工弁の臨床成績を複数の機関で実施してより多くの症例数を集めて、更に長期成績を含めて検討します。
研究の方法	本研究は心臓弁膜症で人工弁（生体弁・機械弁）置換術を施行した患者さんの診療情報から「術前因子、手術方法、手術成績、短・中・長期成績、画像データ」を収集して個人情報情報を削除した状態にしてから解析をします。
対象者	・患者さんが「自分が対象かどうか」わかるように記載する。 西暦2014年1月1日から西暦2026年6月30日の間に、心臓弁膜症で人工弁（生体弁・機械弁）置換術をした患者さんで当院に通院や入院をされた方
利用する試料/情報	研究対象者背景：識別コード、性別、生年月日、喫煙歴、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、過去の心臓血管手術治療歴など 血算：白血球数、ヘモグロビン、血小板 血液生化学：総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、BUN、クレアチニン、LDH、空腹時血糖、NT-ProBNP、CRP、HbA1c 心エコーデータ：駆出率、圧較差、左室径(LVDd/Ds)、左房径・容積、SVD評価 手術成績：手術日、術式、複合手術の有無、手術時間、人工心肺時間、大動脈遮断時間、使用人工弁の種類とサイズ 術後成績：院内死亡の有無、心臓補助装置(IABP、ECMO)の有無、挿管時間、ICU滞在日数、術後脳梗塞の有無、新規透析の有無、在院日数、再手術の有無 よその内容、SVDの発生頻度とその原因
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	【研究代表機関】 済生会横浜市東部病院 心臓血管外科 飯田 泰功(研究代表者) 【研究分担機関】 埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 吉武 明弘(研究責任者)
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	研究結果は日本胸部外科学会、ヨーロッパ心臓血管外科学会で報告予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年10月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 心臓血管外科 / 部長 / 飯田 泰功
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 心臓血管外科 / 飯田 泰功